

## 人民元相場の弾力化について

### 人民元相場について

中国人民銀行(中央銀行)は6月19日、人民元レートの政策について「人民元の為替相場制度の改革をさらに推進し、人民元レートの弾力性を強化する」との声明を発表しました。今後、人民元は対ドルで緩やかに上昇するものと見込まれます。

2008年夏以降、中国金融当局は人民元の対米ドルレートを1米ドル=6.8人民元台で実質的に固定する政策を取ってきました。しかしながら、対中国で貿易収支が大幅な赤字となっている米国などの国々からは、中国は人民元の切り上げにより貿易黒字の削減に努めるべきだとの批判が高まっていました。

このような状況の中、中国金融当局は「世界経済は徐々に回復している。中国経済の回復と上昇はより強固となり、経済的な安定も強化されている。人民元相場制度の改革を一段と進め、人民元レートの弾力性を強化することが望ましい。」として、人民元の緩やかな上昇を容認する方針を示しました。現時点で具体的な日程等の詳細は明らかになっていませんが、「人民元相場制度の改革をさらに進める中で、通貨バスケット制度を参考にし、引き続き市場の需給を反映することに重点が置かれるだろう。為替レートの変動幅は今後も、銀行間の外為市場で以前発表した水準と同じになる。」としており、20日には人民元の対ドルでの変動幅を現行と同じ $\pm 0.5\%$ 以内に抑えると追加発表しました。当局は米ドルの他、ユーロ等に対する変動も反映する形で、人民元相場が緩やかなペースで上昇することを容認するものと思われます。

### 今後の見通し

今後の人民元相場の見通しについて、現時点で詳細は示されていないものの、当局は「国際収支が均衡に近づいている中で、人民元レートの大幅な切り上げの根拠は存在しない。」としています。加えて、当局は日本の経済的低迷の一要因としてプラザ合意での円高誘導があったと考えていることから、長期的に見て現行水準と著しく異なる急激な人民元高を容認することは困難と思われる。これらのことから、人民元の対米ドルの上昇幅は今後1年間で3~5%に留まると見られています。

NDF(外貨の受渡しを行わない為替先渡し取引)市場では18日に1年後渡して2%程度の人民元高を織り込んでいましたが、21日の朝方、一時3.5%程度の上昇を織り込む水準となりました。また、21日の為替市場で中国当局がどの水準で中間値を決定するか注目されていましたが、市場の予想に反して18日と同じ1米ドル=6.8275人民元で行いました。この結果からも、中国当局は人民元の切り上げを積極的に行うというより、「切り上げの方向性」を明示することで、今月26日から始まるG20首脳会議を前に、欧米先進諸国の批判をかわすことを主目的にしているとの見方も出始めています。ただ、中間値発表後、人民元買いの動きが強まり、結局、21日の人民元相場終値は1米ドル=6.7976人民元となり、中間値よりも0.44%元高水準で取引を終了しました。

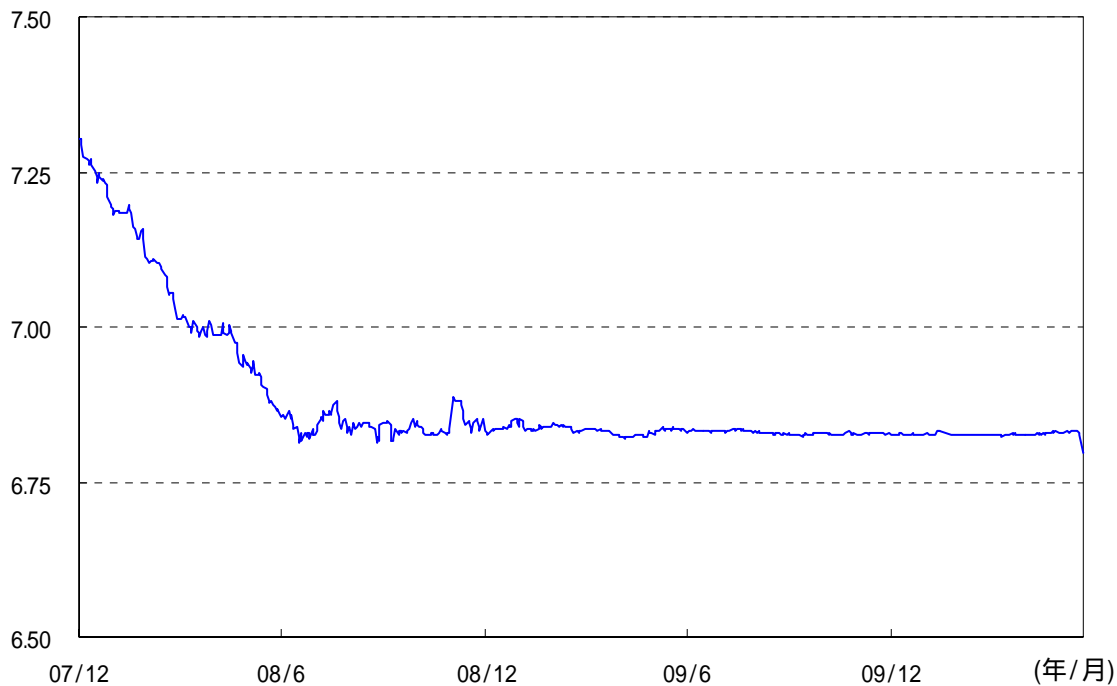
6月22日の中間値は1米ドル=6.7980人民元とほぼ市場実勢と同水準で決定しましたが、中国通貨当局は発表直後から大規模な米ドル買い・中国元売り介入を実施している模様です。理論的には本日の人民元高サイドの変動許容値は1米ドル=6.7640人民元ですが、この水準を待たずに介入を実施していることで、中国通貨当局は急激な人民元高を許容しない姿勢を鮮明にしたものと思われます。

以上

【為替相場】 (2007年12月31日～2010年6月21日、日次)

(人民元/米ドル)

### 人民元の対米ドルレート推移



(円/人民元)

### 人民元の対円レート推移



(出所: Bloomberg より DIAM 作成)

P.3の投資信託に係るリスクと費用、ご注意事項を必ずご覧ください。

**DIAMアセットマネジメント株式会社**

商号等 / DIAMアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

- 2 - 加入協会 / (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

#### 【投資信託に係るリスクと費用】

##### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

##### 投資信託に係る費用について

投資信託は、お申込手数料、信託報酬、信託財産留保額等の費用が発生する場合があります。特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

申込時に直接ご負担いただく費用..... 申込手数料上限3.675%(税込)

換金時に直接ご負担いただく費用..... 信託財産留保金上限0.5%

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用..... 信託報酬上限1.9225%(税込)

その他費用..... 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認下さい。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、DIAMアセットマネジメント(株)が運用するすべての投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。

#### 【ご注意事項】

- ・ 当資料は、DIAMアセットマネジメント(株)が独自に作成した資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。
- ・ 当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- ・ 投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
- ・ 当資料は、DIAMアセットマネジメント(株)が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ 当資料における内容はあくまでも作成時点(2010年6月22日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

#### 証券投資信託は、

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会